

業 種	鉄道・軌道											
取組分野	内部監査											
テ ー マ	内部監査機能を活用した成功から学習する仕組みの構築と実践											
取組の狙い	安全の取組の見える化と安全性の向上という観点から、ものごとがうまくいくことを確かなものにするという新しい安全の考え方を取り入れ、各部門で工夫して実践している安全性向上に資する優良な取組内容を、内部監査機能を活用して探索し、フォローアップする取組											
具体的内容	1．各部門が独自に行っている取組には、他部門に展開しても活用可能な優れた取組事例（優良取組事例）が多く存在しているが、それらを抽出してうまく水平展開できていない点を課題として認識 2．安全の取組の見える化と安全性の向上という観点から、ものごとがうまくいくことをより確かなものにするという新しい安全の考え方を取り入れ、各部門で工夫して実践している安全性向上に資する優良な取組内容について、内部監査機能を活用して探索し、さらに有効に機能させるためにフォローアップする取組を 2022 年度より開始 3．取組の開始に当たっては、“把握した優良事例についてさらに有効に機能させ、社内に周知・奨励すること”を内部監査に係る規程に明示するなど、会社一丸となって取組を推進する体制を構築 従来の安全の考え方と新しい安全の考え方との関係 <table><tr><td></td><td>従来の安全の考え方</td><td>新しい安全の考え方</td></tr><tr><td>安全の定義</td><td>うまくいかないこと（失敗）が可能な限り少ない状態にあること</td><td>うまくいくこと（成功）が可能な限り多い状態にあること</td></tr><tr><td rowspan="2">安全管理の方法</td><td>うまくいかないこと（失敗）の原因を見つけて修正し、改善していくことによって達成</td><td>変化する状況において、「なぜうまくいっているのか」を理解することにより、ものごとがうまくいくこと（成功）を確かなものにするによって達成</td></tr><tr><td>受動的で、何か許容できないことが起こったら対応</td><td>事前対策的で、事態の進展や事象の発生を予見しようと継続的に努力</td></tr></table>		従来の安全の考え方	新しい安全の考え方	安全の定義	うまくいかないこと（失敗）が可能な限り少ない状態にあること	うまくいくこと（成功）が可能な限り多い状態にあること	安全管理の方法	うまくいかないこと（失敗）の原因を見つけて修正し、改善していくことによって達成	変化する状況において、「なぜうまくいっているのか」を理解することにより、ものごとがうまくいくこと（成功）を確かなものにするによって達成	受動的で、何か許容できないことが起こったら対応	事前対策的で、事態の進展や事象の発生を予見しようと継続的に努力
	従来の安全の考え方	新しい安全の考え方										
安全の定義	うまくいかないこと（失敗）が可能な限り少ない状態にあること	うまくいくこと（成功）が可能な限り多い状態にあること										
安全管理の方法	うまくいかないこと（失敗）の原因を見つけて修正し、改善していくことによって達成	変化する状況において、「なぜうまくいっているのか」を理解することにより、ものごとがうまくいくこと（成功）を確かなものにするによって達成										
	受動的で、何か許容できないことが起こったら対応	事前対策的で、事態の進展や事象の発生を予見しようと継続的に努力										
取組の効果	2022 年度の内部監査を通じて、13 部門で 23 事例の取組を抽出した。これまで各部門で継続的に行ってきた取組についても、それぞれの取組が事故・トラブルの未然防止に寄与していることに着目し、さらに進化させるための方法などをフォローアップすることにより安全性の向上につなげている。また、抽出した事例を社内で水平展開することにより、うまくいっている取組を自部門にも取り入れることにつなげている。 優良取組事例を収集するために、監査部門においても適切な知識・能力が必要であり、同取組を通じて、内部監査要員の被監査部門に対する業務理解力や安全の取組に対する評価能力の向上などの効用が得られている。											
事業者名	大阪市高速電気軌道株式会社 グループ監査部 安全監査課											